

**令和7年度進行管理・評価シート**  
**鶴岡市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和5年3月29日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物等保存対策調査事業	.....	3
2 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	.....	4
3 門前町歴史まちづくり活動支援事業	.....	5
4 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	.....	6
5 羽黒山スギ並木保全活用事業	.....	7
6 散策休憩施設整備事業	.....	8
7 協議会活動支援事業	.....	9
8 シルクノチカラ未来創造事業	.....	10
9 歴史まちづくり人材育成事業	.....	11
10 市指定史跡安倍家住宅整備事業	.....	12
11 蚕室群活用整備事業	.....	13
12 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	.....	14
13 民俗芸能保存伝承支援事業	.....	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	.....	16
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	.....	17
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	.....	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 鶴岡の風致維持向上計画の第2期 国の認定を受ける ほか	.....	19
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	.....	20
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	.....	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	22
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、企画部政策企画課、商工観光部観光物産課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び産業建設課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会、鶴岡市都市計画審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市には鶴ヶ岡城下町地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区の3つの重点区域があり、各区域における施設整備や地域振興を所管する担当課、政策を包括する企画部、文化財事業を所管する教育委員会部局、観光事業を所管する商工観光部局が連携し、計画の進行管理と歴史まちづくりを通じた本市の魅力発信に努めている。  
会議等の開催は、令和8年2月2日に副市長を会長とし庁内関係部課長で構成する推進会議、同2月4日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、関係課担当者会議を実施し、計画の適正な執行と円滑な進行管理を図っている。

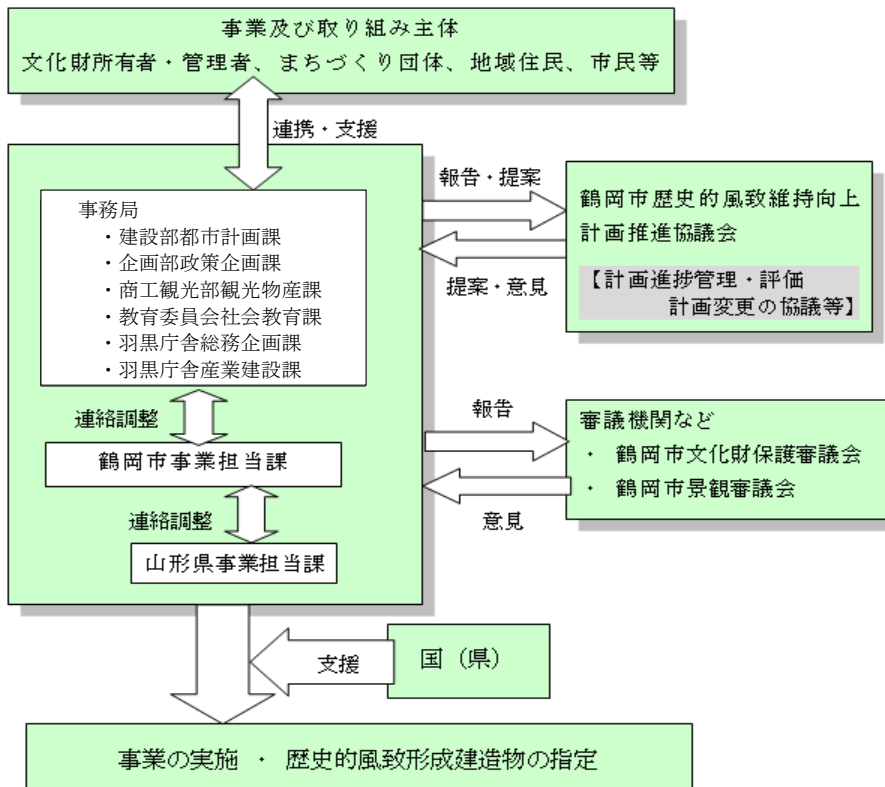
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- |   |   |
|---|---|
| 令和6年度庁内推進会議(令和7年2月6日)<br>①令和6年度の事業報告・事業評価について<br>②計画の変更について                   | 令和6年度第14回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会<br>(令和7年2月13日)<br>①令和6年度の事業報告・事業評価について<br>②計画の変更について |
| 令和7年度庁内推進会議(令和8年2月2日)<br>①令和7年度の事業報告・事業評価<br>②計画の変更について<br>③歴史的風致形成建造物の指定について | 令和7年度第15回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会<br>(令和8年2月4日)<br>①令和7年度の事業報告・事業評価について<br>②計画の変更について  |



評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	○景観計画地域別方針との適合 ○大規模建築物等の景観に関する制限		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施していたが、再生可能エネルギーへのシフトとこれまで営まれてきた景観の保全と調和を図り、歴史的・文化的資源としての景観を今後も継承していくため、令和5年3月に「鶴岡市景観計画」を改訂した。改訂した計画では、基本方針や類型別・景観要素別の方針を見直したほか、大規模再生可能エネルギー発電施設・地域別の方針を定めている。また、行為の制限において、大規模建築物等の制限の見直し、歴史的風致維持向上計画の重点区域であり日本遺産にも認定された「羽黒地域手向地区」、「羽黒地域松ヶ岡地区」を追加した。 ・令和7年度は、景観計画区域内(市全域)における大規模建築行為について市全域で21件の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和7年度における大規模建築物の届出  景観計画区域内における行為の届出 届出件数 21件(令和8年3月31日現在) 届出行為地域別内訳 鶴岡13件、藤島0件、羽黒4件、櫛引2件、朝日0件、温海2件 計21件 届出対象物内訳 建築物18件、工作物3件、両方0件 計21件 区域内における行為 大規模建築行為16件、美咲町シンボルロード地区1件、羽黒大鳥居周辺0件、羽黒地域手向地区4件、羽黒地域松ヶ岡地区0件 計21件			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物等保存対策調査事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度 ~ 令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上のため、歴史的風致形成建造物の指定を見据えた、重点区域に数多くある歴史的建造物の構造や意匠、平面図作成、歴史的価値を示す調査を行い、歴史的建造物の保存・活用を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年11月に歴史的風致維持向上計画(第1期)の認定を受けて以降、少子高齢化の進行や歴史的建造物所有者の高齢化、空き家・空き地の増加などの社会情勢の変化も著しく、社会情勢は大きく変化している。令和6年度からは、歴史的風致形成建造物の指定を見通した物件調査を実施し、歴史的建造物の継承と保存・活用を図ることとしており、令和6年度は2件、令和7年度は1件の物件を調査している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○歴史的建造物物件等調査業務

- ①鶴岡天満宮 本殿 ②鶴岡天満宮 拝殿(令和6年度)



鶴岡天満宮 本殿



鶴岡天満宮 拝殿

○歴史的建造物物件等調査業務

- ①羽黒山随神門(令和7年度)



羽黒山随神門

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和14年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の景観や歴史的価値に対する市民の理解を深めることを目的として、歴史的風致維持向上計画の重点区域である鶴ヶ岡城下町地区を、専門家の解説を聞きながら巡るまちあるきを開催した。  
案内等に山王商店街の方々にも関わっていただき、また、市HPにてふりかえりレポートを公開することで、まちあるき参加者だけでなく、参加者以外への効果の波及を図った。

- 「鶴岡景観まちあるき」の開催
  - ・日時: 令和7年10月26日(日) 9:00～11:30
  - ・参加者: 30人  
(市民内訳: 市内22人、酒田市2人、庄内町2人、山形市2人、新庄市1人、寒河江市1人)  
(年代内訳: 10代1人、20代1人、50代6人、60代8人、70代10人、80代2人、不明2人)
  - ・まちあるきルート  
歴まち重点地区「鶴ヶ岡城下町地区」内  
鶴岡公園～山王町(山王日枝神社ほか)～銀座通り(三井家蔵座敷、旧小池薬局エビスヤビルほか)～鶴岡公園
  - ・まちあるき実施後アンケート結果  
まちあるき満足度(とても楽しかった・まあまあ楽しかった): 93.8%  
鶴岡市の景観や歴史への興味(興味がわいた・もともと興味がある): 93.8%  
景観美化・保全活動への参加(既に参加している・機会があれば参加したい): 100%

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



イベント実施状況



まちあるきルートマップ

まちあるきレポートを市HPで公開

イベントチラシ

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
<p>門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となって行うまちづくり協議会やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>出羽三山魅力発信協議会は、出羽三山・手向地区の魅力発信や歴史まちづくり活動に関する住民の意識向上を図るため、講演会事業や手向地区自治振興会と協働でマルシェイベントを開催した。また、手向地区をメインとしたまち歩きを実施、歴史文化を学び体験できるイベントとなり歴史的風致を活かした取組となった。</p> <p>○手向門前市の開催                      【第1回】日時:令和7年4月20日(日) 場所:蝦夷館公園 来場者:約500人                      【第2回】日時:令和7年9月14日(日) 場所:羽黒山随神門 来場者:約600人</p> <p>○持続可能な歴史・観光まちづくり推進に関する協定締結式並びに羽黒山スギ並木保全とまちづくりシンポジウムの開催                      ※鶴岡市、羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会と共催                      日時:令和7年8月23日(土) 場所:いでは文化記念館、羽黒山参道 参加人数:手向地区住民、関係者70名                      内容:手向地区の4組織(手向自治振興会、羽黒町観光協会、宿坊組合、手向まちづくり会社設立準備会)と鶴岡市が持続可能なまちづくりの実現を目指すため協定を締結。                      事業推進アドバイザーによる調査研究発表、パネルディスカッション、フィールドワークを実施。</p> <p>○歴史の散歩道～手向を学び・手向を知る～(まち歩き)                      日時:令和7年10月13日(月) 参加人数:16名                      内容:手向歴史の散歩道を歩く(正善院黄金堂～金剛樹院～自坊屋敷跡)、斎館にて昼食(精進料理)                      いではガイドがご案内(羽黒山頂、随神門、五重塔)、手向宿坊街(バス車窓から)～玉川寺(庭園鑑賞)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○手向門前市</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○持続可能な歴史・観光まちづくり推進に関する協定締結式並びに羽黒山スギ並木保全とまちづくりシンポジウム                      ※鶴岡市、羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会と共催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○歴史の散歩道～手向を学び・手向を知る～(まち歩きイベント)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街のまち並みを保全し風致を維持するため、道路に面する建物や土塀、生垣、植栽等の外構部分など宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について所有者等がまちづくり協定を策定した上で修景整備への支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し、令和7年度2件の修景整備が実施され、手向地区のまちなみ景観の保全等が促進された。(平成29年度6件、平成30年度7件、令和元年度6件、令和2年度6件、令和3年度7件、令和4年度7件、令和5年度5件、令和6年度6件、令和7年度2件、9年間合計52件整備)また、令和7年3月には、新たに八日町集落が「まちづくり協定」を締結し、手向地区の全集落が協定に参画、地域全体での景観への意識向上につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備

門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物の修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

- 池ノ仲集落 1件(車庫)...外壁鍍張り(杉)、框板戸の設置
- 八日町集落 1件(住宅等)...屋根・外壁・シャッター・エアコン室外機等の塗装

修景整備事案1



修景整備事案2



2. 「手向まちなみ委員会」の開催

- 期 日 令和7年7月14日(月)  
8月28日(木)  
令和8年2月19日(木)

- 内 容 申請内容等の審査・検討

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
羽黒山スギ並木保全活用事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	出羽三山神社・荒沢寺の祭礼行事に欠かすことのできない羽黒山スギ並木の歴史的景観を保全することを目的とし、国指定特別天然記念物「羽黒山のスギ並木」を含む、羽黒山参道及び歴史的景観の保全に向けた調査研究を行う団体へ支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会において、3年間の協議や調査、研究を基に、羽黒山スギ並木保全を核とした山上下の持続的な発展のための将来ビジョン及びアクションプラン骨子を策定した。策定したものは、後継団体として手向地区に新たに設立する、非営利型一般財団法人うけたもう羽黒財団に引き継ぐことで合意を得ている。 また、啓発事業として、シンポジウムの開催や啓発動画の制作・配信を実施した。これにより、地域住民や関係者のみならず地域外にも羽黒山スギ並木の現状や保全の必要性等について周知することができ、理解促進が図られた。			
○シンポジウムの開催 ※持続可能な歴史・観光まちづくり推進に関する協定締結式と共催 日 時 令和7年8月23日(土) 場 所 いでは文化記念館、羽黒山参道 内 容 「スギ並木を守ることが出羽三山・手向地区の歴史を紡ぐ」をテーマに、パネルディスカッションと、羽黒山参道でフィールドワークを実施した。 参加人数 手向地区住民、関係者等 70名			
○啓発動画の制作・配信 羽黒山スギ並木及び手向地区の現状、協議会の取組み等について動画を制作し、YouTube配信やDVD配布により広く周知・啓発し、理解促進が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○ 羽黒山スギ並木保全とまちづくりシンポジウム



パネルディスカッション



フィールドワーク

○ 啓発動画制作・配信



○ 将来ビジョン及びアクションプラン骨子



評価軸③-6  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
散策・休憩施設整備事業(宿坊街まち歩きサイン設置事業) 【羽黒手向地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物やその周辺環境、人々の活動など、歴史的風致を構成する要素をつなぐルート上に、回遊できる空間として散策休憩施設等を整備する。また、歴史資源情報や歴史まちづくりに関する情報、休憩施設の整備、歴史的景観に配慮した案内板・説明版の設置等について、施設所有者や市民、関係団体等と連携、検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市サイン計画」に基づき、宿坊街の歴史的価値の高い建造物、地域の文化や伝承について説明サインを6基整備したことにより、歴史的風致を資源とした観光が充実した。また、市民や来訪者が宿坊街を散策する際に、手向地区の歴史や文化の魅力について理解が深まり、まち歩きへの誘導につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○手向地区サインのテーマカラー(濃藍色)やロゴマーク(宿坊モチーフ)を使用したサイン(6基)

説明サイン「寺小路」



※サイズ450mm×450mm

説明サイン「金剛樹院」



※サイズ450mm×450mm

説明サイン「自坊屋敷跡」



※サイズ450mm×450mm

説明サイン「行尊墳道・馬道」



※サイズ450mm×450mm

説明サイン「烏崎稲荷神社」



※追加取付のため250mm×250mm

説明サイン「引き綱」



※サイズ450mm×450mm

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
協議会活動支援事業(松ヶ岡振興支援事業) 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、様々な催し等を実施。事業を通じて、広く歴史的資産の価値を共有し、松ヶ岡地域への関心が高まることにより、この地域の歴史や文化が維持・継承されることにつながる。 また、日本遺産としての魅力をより一層高めることを目的として、蚕室群の活用や周辺環境の整備を行っている。 さらに、史跡周辺のまち歩きにより、地元への良好な景観維持への意識醸成、住みやすい地域の実現につながる。 ※参考:1番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度2,400人→R元年度4,700人→R6年度4,633人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和4年3月に新たな団体「史跡松ヶ岡開墾場管理運営協議会」が設立。協議会の体制強化、地域住民から協力を得られる関係作りが課題。協議会の実施する事業等に対し支援を行っていく。		

状況を示す写真や資料等

〇イベント

- ・「青空マルシェ 桃市・食市・松ヶ岡」(8/3)開墾場敷地内にて松ヶ岡産桃の販売。来場者数:2,200人
- ・「まちあるきin松ヶ岡」(7/5)小中学生の親子を対象に史跡周辺のまち歩きを実施。参加者:親子7組(計17人)
- ・松ヶ岡クラフトフェス(9/27,28)開墾場敷地内にて県内外のクラフト作家によるクラフト作品販売。来場者数:8,500人
- ・松ヶ岡雪まつり(1/24)開墾場蚕室群ライトアップ、雪山遊びなど。来場者680人

〇松ヶ岡茶再生プロジェクト

- ・除草作業、茶摘み、紅茶づくり、お茶会、冬囲いなど、茶畑の保全や紅茶の提供。



青空マルシェ 桃市・食市・松ヶ岡



まちあるきin松ヶ岡



松ヶ岡クラフトフェス



松ヶ岡雪まつり



松ヶ岡茶再生プロジェクト

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
シルクノチカラ未来創造事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史・魅力を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業や文化、地域コミュニティなどの観点から絹産業を生かした取組を展開した。

○産業

- ・キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)
- ・産地高度化事業:他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルクの商品開発と松ヶ岡開墾場でのPR
- ・ブランド化事業:海外展開やインバウンド対応を視野に入れた商品開発、海外マーケティングやブランド構築
- ・販売促進事業:首都圏・山形県内観光施設・温泉旅館での催事販売

○文化

- ・蚕飼育体験:市内幼・保育園、小・中学校、高校等における蚕飼育体験、3番蚕室での蚕展示飼育
- ・シルクに関する市内高校生の探究活動を支援。R7年度は3校がシルクの活動に取り組んでいる。平成22年から活動に取り組んでいる鶴岡中央高校では、生徒がシルクドレスの製作とファッションショーを実施(日本遺産で頑張る若者応援事業)。

○地域コミュニティ

- ・養蚕環境整備事業・・・地域コミュニティの活性化と生きがい作りのため、閉校舎を活用した養蚕を実施。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

シルクの取り組みは事業開始から16年目を迎えた。幼保育園で蚕飼育を体験した高校生がシルクの探究活動を取り組むなど、シルクを活用した新たな地域振興が図られている。

状況を示す写真や資料等



kibiso shop  
(松ヶ岡開墾場4番蚕室内)



保育園での蚕飼育体験



高校生による探究活動  
(AIを活用した蚕の認識装置)



高校生による探究活動  
(シルクガールズプロジェクトin松ヶ岡)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり人材育成事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和14年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。  
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【鶴ヶ岡城下町地区】  
・観光ボランティアガイド…鶴岡市観光ガイド協議会のボランティアガイドが市街地周辺の文化施設等を案内。同協議会では月1回会員の情報共有や研修のための例会を実施。(令和7年度実績:回数128回、人数1,196人)  
【羽黒松ヶ岡地区】  
・日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)…松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」を紹介(令和7年度:来館者数11,585人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【鶴岡公園とその周辺地区】



観光ボランティアガイド  
(みゆき橋付近)



観光ボランティアガイド  
(大山街道口木戸口跡)

【羽黒松ヶ岡地区】



日本遺産インフォメーションセンター  
(新徴屋敷)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
市指定史跡安倍家住宅整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和7年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	安政6年(1859)の創建で、鶴ヶ岡城跡である鶴岡公園の北に位置する。敷地の広さや間口、建物等の配置や茅葺屋根などが100石取級の武士住宅の状況を今に伝える。令和5年1月26日、鶴岡市史跡に指定された。 安倍家住宅の次代への継承とともに、その周辺を含め藩政期の武士の暮らしを伝える場所、また観光まち歩きのスポットとして整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・茅葺屋根で雨漏りが生じていることから、令和7・8年度2ヶ年で市史跡安倍家住宅屋根葺替工事をを行う。令和7年度は西側を実施した。 ・安倍家住宅の復原整備に向けた実施設計を行った。 ・安倍家住宅敷地内にある支障木(メタセコイア3本)の伐採を行った。 ・安倍家住宅東側の一角を駐車場や当地の歴史を伝える場所として整備するための実施設計を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>屋根葺替 前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>屋根葺替 後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 支障木(メタセコイア)伐採 前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ③ 支障木(メタセコイア)伐採 後</p> </div> </div> <div style="text-align: center;">  <p>① ② ③ 支障木(メタセコイア)伐採 後</p> </div>			

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・古民家等観光資源化支援事業		
計画に記載している内容	松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>平成28年度に史跡の確実な保存・伝承のために市が取得した。平成30年度に当史跡の本質的価値と構成要素を明らかにしながら、保存管理と活用整備の方針とする「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定。本計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。</p> <p>令和4年度に5つ現存する蚕室のうち、4番蚕室を絹産業の伝統と文化を発信する体験施設「シルクミライ館」としてオープンした。</p> <p>令和7年度は、松ヶ岡で行われた「養蚕」の歴史を伝える蚕の展示飼育、同地を端緒とするシルクにまつわる「シルクガールズコレクション」の展開、「松ヶ岡音楽祭」を開催するなど蚕室を活用したイベントなどと合わせて、当地の歴史的価値・文化的価値を確認する機会を創出した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	4番蚕室「シルクミライ館」や5番蚕室を活用したにぎわい創出が図られている。新たな観光拠点として、関係部局・地元が連携した周知や誘客の強化が必要。		
状況を示す写真や資料等			
			
松ヶ岡開墾場保存活用計画(平成31年3月)		3番蚕室での蚕の展示飼育(6月)	
			
4番蚕室「シルクミライ館」開館(令和4年4月)		5番蚕室でのシルクガールズ(10月)	
			
5番蚕室での「松ヶ岡音楽祭」(7月)		5番蚕室の構造解説チラシ 蚕室特有の構造を紹介	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～令和14年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

明治初期に松ヶ岡開墾場で蚕室群と合わせて建造された、養蚕のための桑葉を保管した「貯桑土蔵」1棟を保存修理する。  
 老朽化により建物全体にゆがみや雨漏りが生じていることから、令和2年度に現状図の作成、令和3年度に基本設計、令和4年度に痕跡調査を行い、令和5年度には、当該土蔵の当初部材を保持・再利用するため、躯体をジャッキアップしながら部材を補修していく「半解体工事」により施工することとして、半解体にかかる実施設計を行った。  
 令和6年度は半解体工事を行い、部材や遺構の調査を行った。  
 令和7・8年度2ヶ年で保存修理工事を実施し、令和9年度にはこのたびの工事概要の解説を含む展示設計を行いながら、体験施設等として活用を開始する予定。令和10年度に展示を製作する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各建造物は約150年が経過していることで、老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要。それぞれの現状を確認しながら、適切に保存修理を実施していく。
--	--

状況を示す写真や資料等



R7より貯桑土蔵全体を囲い、保存修理工事を開始。



ジャッキアップ状況。本舎を約1メートル程上げ、調査を行った上で基礎土台や柱の根継ぎを行う。



柱の根継ぎ状況。  
腐食部分を取り除き、新しい材で継ぎ補修している。



基礎土台の修理状況。  
腐食した土台を取り除き、新規材で修繕している。

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
民俗芸能保存伝承支援事業 【全市域】		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(一財)地域創造助成事業

計画に記載している内容

- ・無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。
- ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。
- ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。
- ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・保存継承活動のための補助金として、6団体(藤島伝統芸能振興協会、高寺八講保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会)に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付した。(一般財団法人地域創造「地域伝統芸能等保存事業(保存・継承活動支援事業)」を活用)
- ・(一財)丸高歴史文化財団は(株)丸高が地域文化の向上発展に寄与するため設立された財団で、伝統工芸の継承や伝統芸能の保存に尽力している団体等に資金援助している。これについて市内の無形民俗文化財保存団体に周知を図った。(採択件数:令和元年度3件、令和2年度2件、令和3年度1件、令和4年度1件、令和5年度1件、令和6年度0件、令和7年度1件)
- ・『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、各団体の抱える課題の共有や意見交換を行った。
- ・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能の保存継承活動を知るうえで貴重な機会になっている。(令和8年2月14日 観覧者数 約450人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市が保存継承活動を支援する「山戸能(山五十川古典芸能保存会)」



令和7年度 民俗芸能保存団体情報交換会 (令和7年10月27日 会場: 荘銀タクト鶴岡)



令和7年度 鶴岡市民俗芸能交流発表会 (令和8年2月14日開催 会場: 荘銀タクト鶴岡)

評価軸④-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じて調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし、保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で

- ・埋蔵文化財等文化財調査を行った。  
 現地踏査実施箇所 2ヶ所 長沼地内、「火打崎A・B遺跡」  
 立会調査実施箇所 8ヶ所 「鶴ヶ岡城跡」「尾浦城跡」「越中山遺跡」等  
 試掘・確認調査実施箇所 4ヶ所 「三瀬鍋倉城跡」「荒川館跡」「尾浦城跡」等  
 埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和8年1月5日現在) 公共事業 8件、民間事業179件 合計187件
- ・文化財保護審議会を開催した。(令和7年12月24日(水))

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



令和7年4月28日  
三瀬鍋倉城跡試掘調査風景



令和7年7月31日  
荒川館跡試掘調査風景



令和7年12月24日  
鶴岡市文化財保護審議会

評価軸④-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財の修理、周辺環境の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- ・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
- ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
- ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
- ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
- ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業
- ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
- ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
- ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・指定文化財の所有者が実施した保存修理事業に対して、市は補助金を交付して支援を行った。
- ① 旧西田川郡役所美観向上整備事業：公益財団法人致道博物館
- ② 名勝金峯山末社保存修理事業：宗教法人金峯神社
- ・史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業：令和7年度から貯桑土蔵保存修理工事を実施。
- ・市指定史跡安倍家住宅整備事業(屋根葺替(1期目))：復原修理工事実施設計、周辺環境整備工事実施設計、支障木の伐採を実施。
- ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行った。(国・県・市指定文化財 計10箇所)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ着実に保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

○旧西田川郡役所美観向上整備事業



旧西田川郡役所(塔屋)

○名勝金峯山末社保存修理事業



末社 粟島神社

○市指定史跡安倍家住宅整備事業



屋根葺替(1期目)

○文化財防火デー



(令和8年1月25日 重要文化財 羽黒山正善院黄金堂)

評価軸④-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。
- ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。
- ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として、小学生向けに「つるおか文化財めぐり」を開催した。(令和7年8月2日 参加者親子8組 16名)
- ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出した。(令和8年2月14日 観覧者数約450人)
- ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。
- ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行った。(国・県・市指定文化財 計10箇所)
- ・有形文化財所有者や無形民俗文化財保持団体等に対し、民間団体の助成を周知し、申請希望者への支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



「つるおか文化財めぐり」(令和7年8月2日)  
(松ヶ岡開墾場、羽前絹練株式会社、旧風間家住宅丙申堂)



「鶴岡市民俗芸能交流発表会」(令和8年2月14日)



文化財防火デー消防訓練  
(令和8年1月24日 旧鶴岡警察署庁舎)

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	評価対象年度 年月日	令和7年度 掲載紙等
ふるさとの文化財 鶴岡市指定有形文化財 大宝館	令和7年4月7日	山形新聞
朝六小で天神祭・出前講座 “化けもの”学び当日踊りに思い	令和7年5月14日	荘内日報
鶴岡・羽黒山五重塔 ツアー造成へ説明会	令和7年5月13日	山形新聞
来年「羽黒山牛歳御縁年」アピール	令和7年5月15日	荘内日報
庄内藩校致道館の伝統受け継ぐ 少年少女古典素読教室	令和7年5月16日	荘内日報
お山王はんお餅様宮入り 鶴岡・山王日枝神社 春の例大祭	令和7年5月20日	荘内日報
「石段詣」1万人突破 羽黒山参拝プラン 記念の特別御朱印贈る	令和7年5月21日	荘内日報
大絵馬奉納「天神祭」始まる	令和7年5月25日	荘内日報
無言の化けもの いっぱいの笑顔 鶴岡天神祭・本祭	令和7年5月26日	荘内日報
天神祭 雨に負けず華やかパレード 鶴岡中心街”化けもの”繰り出す	令和7年5月27日	荘内日報
羽黒山石段トレイル「素晴らしい経験」東北アドベンチャーウィーク事前視察	令和7年5月29日	荘内日報
かわいい酌に笑顔の天神祭	令和7年5月30日	コミュニティしんぶん
鶴岡・少年少女古典素読教室開講 「論語」全員ではきはきと	令和7年6月13日	山形新聞
Welcome to 羽黒山 羽黒高生 英語ガイド挑戦	令和7年6月28日	山形新聞
花梵天 御利益つかめ 鶴岡・出羽三山神社「花まつり」	令和7年7月16日	山形新聞
花梵天頂き笑顔 出羽三山神社 五穀豊穰願う「花祭り」	令和7年7月17日	荘内日報
3年ぶりライトアップ 国宝羽黒山五重塔	令和7年7月20日	荘内日報
庄内論語の素読検定に挑戦	令和7年8月21日	荘内日報
宿坊街の景観、活気を維持 鶴岡市と手向地区4団体協定	令和7年8月24日	山形新聞
住みたい 訪れたい 手向に 持続可能な歴史・観光のまちづくり 鶴岡市と地元団体協定	令和7年8月26日	荘内日報
羽黒山の宿坊街文化観光通じ活性化・継承 鶴岡市地元と協定	令和7年8月26日	朝日新聞
修行の道 一歩ずつ 鶴岡・羽黒山の「秋の峰入り」	令和7年8月27日	山形新聞
「秋の峰」始まる 出羽三山神社	令和7年8月28日	荘内日報
五穀豊穰を願う 夜空に上る火柱 参拝客手合わせ 鶴岡 八朔祭	令和7年9月1日	山形新聞
勇壮に火祭り神事	令和7年9月2日	荘内日報
羽黒山で協力金導入へ 地元協議会「スギ並木」保全向け	令和7年9月5日	山形新聞
羽黒山参拝者から協力金 1口500円 杉並木保全に来春本格導入	令和7年9月6日	読売新聞
羽黒山に入山協力金 杉並木保全や宿坊街整備	令和7年9月8日	朝日新聞
「子 日く・・・」児童が暗唱 特級を新設「庄内論語」素読検定	令和7年9月10日	山形新聞
羽黒山「入域金」始まる スギ並木保全へ実証実験	令和7年9月19日	山形新聞
多彩な手工芸品一堂に 食欲・芸術の秋満喫! 28日まで松ヶ岡クラフトフェス	令和7年9月28日	荘内日報
地元産シルクの衣装まとい堂々と 鶴岡中央高生、松ヶ岡開墾場でショー	令和7年10月8日	山形新聞
武士の住まい修復 鶴岡・安倍家住宅 屋根ふき替え、27年度以降公開	令和7年11月20日	山形新聞
修験道の聖地、歴史と文化守れ	令和8年1月3日	京都新聞
山形・羽黒山 修験道の聖地守れ 今春から協力金	令和8年1月4日	奈良新聞
修験道の聖地 次世代に 山形・羽黒山で入域協力金	令和8年1月4日	東奥日報
修験道の聖地・山形の羽黒山歴史守る「協力金」導入へ26年春から	令和8年1月4日	静岡新聞
修験道の聖地、鶴岡の羽黒山 今春から入域協力金 1口500円 歴史、文化守る/山形	令和8年1月11日	毎日新聞
文化財を守れ!! 防火デー訓練 有事に備える	令和8年1月25日	荘内日報
歓声を上げそり滑り 鶴岡・松ヶ岡開墾場、雪まつりに家族連れ	令和8年1月26日	山形新聞
地域それぞれ伝統の舞披露 鶴岡市の民俗芸能交流発表会	令和8年2月17日	荘内日報
6団体 民俗芸能堂々と	令和8年2月19日	山形新聞
継承方法を変えつつ伝統を守る	令和8年2月21日	荘内日報
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>本市の各重点区域における歴史的風致に関連して広く報道・情報発信されている。 歴史的建造物や伝統文化・祭礼などのほか、新たな歴史・観光のまちの取り組みに関する報道も行われており、本市の歴史的風致・伝統文化・歴史まちづくりに対する関心が喚起され、広く周知されていると考えられる。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数は、計画認定を受けた平成25年(2013)は2,760人であったが、歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の推進や3つの日本遺産の認定などもあり、令和6年(2024)は14,366人で平成25年(2013)と比較して約5.2倍の増となった。令和2年(2020)以降はコロナ禍の影響で大きく減少に転じたが、回復の傾向がみられ、今後も増加が期待される。  
※平成29年(2017年)の数値は、前後の年度の実績と大きな乖離があるが、具体的な要因は観光庁でも不明。

【羽黒手向地区】

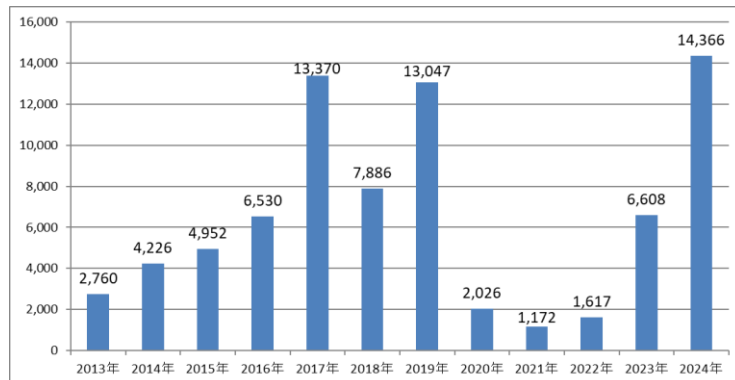
宿坊街の沿道空間は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素であり、修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成される。平成29年度から修景整備に取り組み、令和7年度まで52件の整備が実施された。道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構、宿坊街の佇まいを感じる特徴的な建造物の修景整備により、地域住民はもとより、手向地区に訪れる国内外の観光客等にも、平成28年度に日本遺産に認定された出羽三山の構成要素でもある手向地区宿坊街の歴史的風致が体感できる空間を構成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移(人泊)  
※観光庁「宿泊旅行調査」より

- 鶴岡市における外国人宿泊者数
  - ・2013年: 2,760人(第1期計画認定時)
  - 2024年: 14,366人(5.2倍の増)
  - ・2019年: 13,047人(コロナ禍前)
  - 2024年: 14,366人(1.1倍の増)

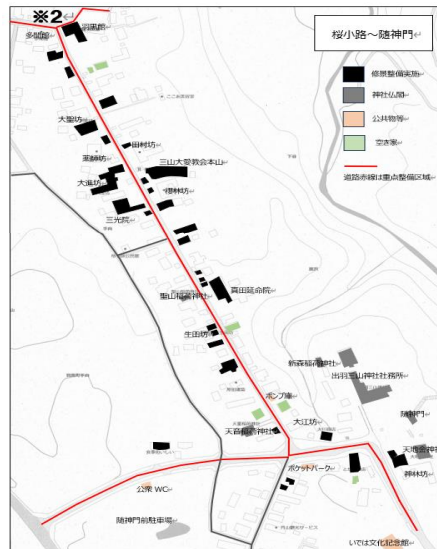
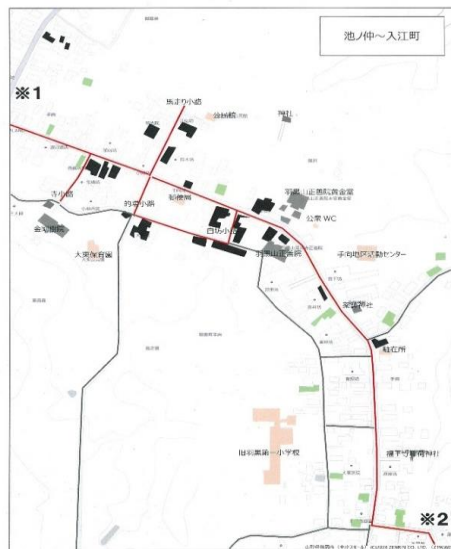
- 考察
  - ・外国人観光客はコロナ禍以前の状態まで回復傾向にあり、今後も増加が期待される。



【羽黒手向地区】

宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業

・事業実績 52件



- 平成29年度: 6件
- 平成30年度: 7件
- 令和元年度: 6件
- 令和2年度: 6件
- 令和3年度: 7件
- 令和4年度: 7件
- 令和5年度: 5件
- 令和6年度: 6件
- 令和7年度: 2件

■ 修景整備実施

■ 神社仏閣

■ 公共物等

■ 空き家

道路赤線は重点整備区域

評価軸⑥-2  
その他

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民等への歴史景観づくりの取組みなどの説明、歴史的風致維持向上計画関連会議等への参加により、本市の歴史まちづくり、歴史的風致維持向上計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- ・令和7年10月26日 ふむふむ！鶴岡景観まちあるき ～城下最北端の町人町 山王町の小路を巡ろう～(市主催)  
講師:熊坂俊秀氏(山形県景観地域づくりアドバイザー)  
参加者:一般募集 30名
- ・令和7年11月27日～28日 令和7年度 第52回歴史的景観都市協議会 参加  
対象者:風趣ある歴史的、伝統的な市街地景観の保全を図っている市町村47都市  
会場:長野県松本市  
歴史的風致維持向上計画全国担当者会議 参加  
対象者:歴史的風致維持向上計画認定都市、関係都道府県 等  
会場:長野県松本市

令和7年度は、他自治体・団体等からの視察依頼など、対応はなかったが、本市の歴史まちづくりや景観形成に関する取組み、国や県、全国の歴史まちづくり・景観の取組みを行っている市町村を対象として、情報発信、意見交換を行うことができた。

また、一般市民等を対象とした景観まちあるきを市主催事業として初めて実施し、本市の歴史と景観に関する情報発信と啓発が図られた。

評価対象年度	令和7年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和8年2月4日(水)15:00	
(コメントの概要)	
<p><b>【会議結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度事業についての評価・報告、鶴岡市歴史的風致維持向上計画の変更についての承認</li> </ul> <p><b>【主なコメント】</b></p> <p>◆全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的風致の維持には、建造物の保存だけでなく、祭りや民俗芸能等の地域文化を継承し、発展させていく必要があるが、これらの担い手不足が深刻化しているため、外部参加者や若い世代を取り込む工夫が求められている。</li> <li>外国人観光客が羽黒山や宿坊街を中心に増加しており、単なる観光だけではなく、精神的・文化的な関心を持って訪れている例も近年多くみられる。</li> </ul> <p>◆個別事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 手向地区ではサイン整備や景観形成が進み、地域における統一感や市民の意識が向上している。</li> <li>協議会活動支援事業(松ヶ岡振興支援事業) 松ヶ岡地区では、施設活用事業者の高齢化と後継者不足が大きな課題となっている。</li> <li>安倍家住宅整備事業 本市における極めて貴重な武家屋敷であるため、単なる屋根修繕だけでなく、建物内部を含めた本来の姿の復元・保存・活用を検討してほしい。</li> </ul> <p>◆効果測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人宿泊者数を成果指標とすることについて、観光動向としては有効だが、歴史的風致との直接的な関係が分かりにくい。</li> <li>事業評価について、すべて「計画通り進行中」と整理するのではなく、個別の課題や改善の必要性について、各事業の実態を改めて精査することが必要なのではないか。</li> <li>各事業の成果や地域への効果が見えにくいいため、効果の可視化や評価方法の見直しが必要なのではないか。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>祭り・民俗芸能等の担い手不足への対応として、地域外人材や外国人を含めた新たな参加者の受け入れや、参加しやすい運営体制を検討することで、建造物の保存だけでなく、地域の歴史や文化を活かしたまちづくりを推進していきたい。</li> <li>事業効果については、観光指標だけでなく景観や回遊性なども含めた評価方法を検討し、成果や課題の可視化を進めていきたい。</li> </ul>	